



2026年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年12月11日

東

上場会社名 株式会社Ridge-i 上場取引所

コード番号 5572 URL <http://ridge-i.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳原 尚史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 中井 努 (TEL) 03(4214)8558

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第1四半期の連結業績 (2025年8月1日～2025年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第1四半期	577	△16.1	71	△29.1	67	△32.8	37	△26.0
2025年7月期第1四半期	688	—	100	—	99	—	51	—

(注) 包括利益 2026年7月期第1四半期 45百万円(△32.2%) 2025年7月期第1四半期 66百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第1四半期	9.38	9.15
2025年7月期第1四半期	13.28	12.84

※2024年7月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期第1四半期	3,893	3,566	84.5
2025年7月期	2,846	2,458	77.0

(参考) 自己資本 2026年7月期第1四半期 3,290百万円 2025年7月期 2,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年7月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年7月期	—	—	—	—	—
2026年7月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年7月期の連結業績予想 (2025年8月1日～2026年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	1,260	△10.5	120	△40.2	120	△40.8	70	△29.8
通期	2,800	8.0	265	△6.4	265	△8.9	154	10.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年7月期 1Q	4,309,720株	2025年7月期	3,909,880株
② 期末自己株式数	2026年7月期 1Q	76株	2025年7月期	76株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年7月期 1Q	4,051,081株	2025年7月期 1Q	3,865,091株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、四半期決算補足説明資料をTDnetで本日開示するとともに、当社ホームページのIRページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年8月1日から2025年10月31日）における我が国の経済環境は、雇用環境の改善が進むなど緩やかな回復傾向が見られ、このような中、生成AI技術への注目の高まりにより、企業の生産性向上や競争力強化を目的としたDX関連の高い需要が継続しており、引き続き様々な場面においてAI導入の流れが加速しております。ただし、円安による輸入コストの上昇や、物価・賃金コストの上昇など、依然として、経済全体としての外部リスク要因は継続しています。

当社は「データ・AIを駆使した最先端技術とビジネス知見を用いて、未解決の課題に挑み、新しい社会を実現する」をミッションとして掲げ、カスタムAIソリューション事業として顧客の目的から現場のプロセス、課題を理解し、様々なデータに対応したAIを組み合わせた最適なAIソリューションの提案から実装までを行っており、特に直近では生成AI関連のニーズが増加しております。また、AI技術と親和性の高いデジタルマーケティング事業において、SNS広告のプランニングから制作までとプラットフォームの配信や広告等で利用される音楽制作を開発してまいりました。

2025年9月には、SBIホールディングス株式会社との資本業務提携、第三者割当増資による新株式の発行を行いSBIホールディングス株式会社の関係会社となっております。この資本業務提携に基づき金融データや企業ネットワークを使った各種施策を進めており第2四半期から取引開始となる予定です。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高については、既存顧客からのAIプロジェクトの継続、生成AIテーマ案件の増加及び一部案件が継続拡大している一方で、前期にあった大型の衛星AI案件が完了し保守運用フェーズに移行したこととプラットフォーマーからのマーケティング案件が減少したことにより577,069千円（前期比16.1%減）となり、売上総利益については314,392千円（前期比12.6%減）となりました。

営業利益については、上記のとおり売上高の減少に伴い、71,097千円（前期比29.1%減）となりました。なお、外注利用、積極的な採用活動や生成AI等の新しい技術に対応するための研究開発を継続しておりますが、比較的大型案件が多く利益率がよかつたため営業利益率は12.3%と想定より高い水準となっております。

経常利益については、営業利益の減少及び第三者割当増資による株式交付費6,740千円の計上により67,056千円（前期比32.8%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等24,497千円及び子会社の株主持分が67.0%のため非支配株主に帰属する当期純利益7,173千円などにより、37,988千円（前期比26.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①カスタムAIソリューション事業

カスタムAIソリューション事業におきましては、売上高が290,367千円（前期比13.6%減）、セグメント利益が50,776千円（前期比15.1%減）となり、そのサービス別の売上高は、前期から継続している大手企業の顧客を中心としたAIプロジェクトの継続に加えてコンサルティングファームとの連携による案件が進捗したことによりAI活用コンサルティング・AI開発の売上高は229,036千円となりました。衛星関連プロジェクトは予定通り大型案件が2025年3月で完了し保守運用フェーズへ移行したことにより売上が減少となり人工衛星AI解析の売上高は25,300千円となりました。AIライセンス提供については大型の保守運用が継続しており売上高は36,030千円となりました。

②デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業におきましては、売上高が286,702千円（前期比18.6%減）、セグメント利益が20,321千円（前期比49.7%減）となり、そのサービス別の売上高は、大手企業からの広告制作や運用などが増加した一方でプラットフォーマーからの受注が減少しソーシャルメディアマーケティングの売上高は201,363千円、保有する楽曲からの権利収入が減少し音楽制作配信サービスの売上高は85,338千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,376,136千円となり、前連結会計年度末に比べ1,069,967千円増加いたしました。これは主に、第三者割当増資などにより現金及び預金が1,132,921千円増加したことによるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における固定資産は516,876千円となり、前連結会計年度末に比べ23,273千円減少いたしました。これは主に除却などにより有形固定資産が15,701千円減少したことおよび償却によりのれんが8,327千円減少したことによるものであります。この結果、総資産は3,893,013千円となり、前連結会計年度末に比べ1,046,694千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は323,387千円となり、前連結会計年度末に比べ46,495千円減少いたしました。これは主に、年度末の納税により未払法人税等が29,258千円減少したことによるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における固定負債は3,218千円となり、前連結会計年度末に比べ14,436千円減少いたしました。これはオフィス賃借契約更新時の条件変更に伴い資産除去債務が減少したことによるものであります。この結果、負債合計は326,605千円となり、前連結会計年度末に比べ60,932千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,566,407千円となり、前連結会計年度末に比べ1,107,626千円増加いたしました。これは主に、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ529,620千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の連結業績予想につきましては、2025年9月12日公表の「2025年7月期決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更ありません。

なお、当連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,827,826	2,960,748
売掛金及び契約資産	405,196	369,975
前払費用	32,829	30,122
その他	40,315	15,290
流动資産合計	2,306,169	3,376,136
固定資産		
有形固定資産	63,837	48,135
無形固定資産		
のれん	299,804	291,477
その他	24,603	23,426
無形固定資産合計	324,408	314,903
投資その他の資産	151,904	153,836
固定資産合計	540,149	516,876
資産合計	2,846,318	3,893,013
負債の部		
流动負債		
買掛金	177,903	186,458
未払金	54,217	52,434
未払法人税等	61,339	32,080
契約負債	38	—
賞与引当金	13,155	11,687
役員賞与引当金	7,150	—
その他	56,079	40,727
流动負債合計	369,883	323,387
固定負債		
資産除去債務	17,654	3,218
固定負債合計	17,654	3,218
負債合計	387,538	326,605

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,392	569,139
資本剰余金	1,857,145	2,387,892
利益剰余金	295,425	333,413
自己株式	△194	△194
株主資本合計	2,190,769	3,290,251
新株予約権	7,416	8,387
非支配株主持分	260,595	267,768
純資産合計	2,458,780	3,566,407
負債純資産合計	2,846,318	3,893,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位:千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
売上高	688,059	577,069
売上原価	328,370	262,676
売上総利益	359,689	314,392
販売費及び一般管理費	259,467	243,294
営業利益	100,221	71,097
営業外収益		
受取利息及び配当金	205	1,848
助成金収入	720	400
講演料収入	141	198
その他	321	252
営業外収益合計	1,388	2,699
営業外費用		
支払利息	236	—
株式交付費	—	6,740
為替差損	69	—
固定資産除売却損	1,513	—
営業外費用合計	1,819	6,740
経常利益	99,790	67,056
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	2,601
特別利益合計	—	2,601
税金等調整前四半期純利益	99,790	69,658
法人税等	33,207	24,497
四半期純利益	66,583	45,161
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,258	7,173
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,325	37,988

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
四半期純利益	66,583	45,161
四半期包括利益	66,583	45,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,325	37,988
非支配株主に係る四半期包括利益	15,258	7,173

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年9月30日と払込期日とする第三者割当増資の払込みにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ529,620千円増加しております。また、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第1四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,127千円増加しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が569,139千円、資本剰余金が2,387,892千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	9,916千円	6,072千円
のれん償却額	8,327〃	8,327〃

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	カスタムAIソリューション事業	デジタルマーケティング事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	336,009	352,050	688,059	—	688,059
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	336,009	352,050	688,059	—	688,059
セグメント利益	59,790	40,431	100,221	—	100,221

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	カスタムAIソリューション事業	デジタルマーケティング事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	290,367	286,702	577,069	—	577,069
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	290,367	286,702	577,069	—	577,069
セグメント利益	50,776	20,321	71,097	—	71,097

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

資本金の額の減少

当社は、2025年10月28日開催の定時株主総会において資本金の額の減少を行うことを決議し、2025年12月1日付でその効力が発生しております。

1. 資本金の額の減少の目的

今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるものであります。

2. 資本金の額の減少の要領

(1) 減少する資本金の額

資本金の額570,129千円を558,519千円減少して、減少後の資本金の額を11,609千円といたしました。

(2) 資本金の額の減少の方法

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式総数を変更することなく、資本金の額を減少するものであります。減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えるものであります。

(3) 資本金の額の減少の日程

- | | |
|-------------|-------------|
| ①取締役会決議日 | 2025年9月19日 |
| ②定時株主総会決議日 | 2025年10月28日 |
| ③債権者異議申述最終日 | 2025年11月30日 |
| ④減資の効力発生日 | 2025年12月1日 |

3. 今後の見通し

本件は、純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、純資産の変動はなく、当社業績に与える影響はありません。